



## ～ 自他共栄 ～ No.11

2025年10月27日  
発行責任者 根岸大智  
編集責任者 情宣部

# 年末手当第二回交渉!!

## 組合

- ・この間、輪軸の不適切事案からの信頼回復に向け全組合員で取り組み努力してきた!
- ・7月の豪雨や線状降水帯が発生し、大幅な列車遅延の中で、安全・安定輸送を維持し努力してきた!
- ・若い組合員は、今の賃金では自立して生活できない。物価の高騰が続き生活が厳しい!
- ・若年層の離職者が後を絶たず、離職防止の為にも労働条件・職場環境もそうだが、まず引き留めるために満額回答を出されたい!

## 会社

- ・会社として、社員の頑張りを見ていないという事は絶対にない。列車遅延対応などの社員の頑張りは受け止めている。
- ・会社としても、離職問題の認識はある。退職者を出さないという点では労使で一致している。会社としてメンター制度をフランナー職群で導入した。
- ・組合の主張は受け止めるが、期末手当は業績給という位置づけには変わらない。**半期の業績・足元の動向・社員の頑張りを**見て判断する。

会社の信頼回復や安全・安定輸送を担い

JR貨物を支えている青年部員の声を

会社はしっかり聞き入れ、満額回答で応えるべきだ!